

日本学術会議比較政治学分科会・日本比較政治学会・
北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター
共催公開シンポジウム

「地域主権」と「新しい公共」 —国際比較の観点—

現在の日本社会は少子・高齢化が進み、経済格差が拡大して「無縁社会」の様相を呈している。このような状態を打開するために現在「地方主権」が唱えられるが、そこでは一般市民も積極的に参加する「新しい公共」の創出が不可欠であろう。それは、東日本大震災が生じて国家的な対策が急務になった現在も、被災地の再興や日本自体の発展のために益々重要になっているといえる。本シンポジウムでは、海外の例を参考にしながら現在の課題を活発に論議することにしたい。

日時：2011年6月19日（日）午後4時～6時

場所：北海道大学札幌キャンパス 人文・社会科学総合教育研究棟
W203号室

開会の辞：五十嵐武士（桜美林大学）

司会：新川 敏光（京都大学）

報告：山口 二郎（北海道大学）「政権交代と「地域主権」構想」

：穴見 明（大東文化大学）「スウェーデンの観点から」

：坪郷 實（早稲田大学）「菅内閣の「新しい公共」構想から」

討論：辻中 豊（筑波大学）

問い合わせ：北海道大学大学院法学研究科附属高等法政教育研究センター

TEL/FAX：011(706)4005